

身近な所で災害が起きる可能性があるので	で災害が起きることが分かりました。	っ ていましました。大雨が降った時は、身近な所	大夫でも、祖父の家は土砂災害警戒区域に入	のホームパージを見ていると、自分の家は大	認することが必要だと分かりました。渋川市	んでいるところが、土砂災害警戒区域「が確	そこで分かったのは、まあ初めに、自分が住	からなかったのを調べてみることにしました。	っ ても、何を気を付ければいいのかあまり分	災害のニースを多く見て、備えようと思	びした。	どのくらいかの量なのか全然実感が湧きません	時間の降水量60mlなどと書いてあっても、	とても怖いことだと思いました。ですが、一	を知りました。土砂災害の警報も出ていて、	月二十二日に岩手県で大雨が降っていること	僕はいつも通りニュースを見ていると、七	渋川市立渋川北中学校	諸田	大和	身近な災害	年
---------------------	-------------------	----------------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-----------------------	--------------------------	--------------------	------	-----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	------------	----	----	-------	---

担当に連絡してもらったそうです。祖父の山
 は土砂流出防備保安林という林があったので
 群馬県の税金を使って直してもらったそうです
 す。土砂災害が起きたときに「土止め」とい
 う工事をするそうです。土止めとは針金の
 ネットを使い、中に石などを入れて土砂が流
 れないようにしたり、草木を植えて根で抑え
 たりするそうです。そして、山を元通りに修
 復しました。一度土砂災害が起きても、色々
 な工夫をすることです。元通りの山に戻せること
 が分かりました。

僕は体験したことがなくとも、祖父母など
 の身近な人は、実際に土砂災害を体験してい
 るので、いっそのような災害が起きる分か
 らず、いっでも対応できるように備えること
 が大切だと、祖父の話聞いていて思いまし
 た。

そして、実際に去年の七月、熱海で大きな
 土砂災害が起きて、二十人以上の死者が出る
 ほどの被害がありました。ニュースでも、毎

日見るほどの災害でした。実際にその場に行
 った訳ではなくても、ニコニコを見ていると、
 とても大変な事だと感じました。僕は土
 砂災害に関するニコニコをあまり見たことが
 なか、たので、とても驚きました。死者が出
 る災害は起きるはいけないことだけけれど、土
 砂災害の怖さを知ったり、備えを見直したり
 する良い機会にもな、たと思いました。
 土砂が崩れ、ているのを見たとき、崩れた
 土砂で家が埋ま、ていたのと、家ごと流され
 ている所がありました。どちらも起きてしま
 うと逃げられないけれど、災害が起きる前に
 防げることはあると思います。例えば、祖父
 のときのように土止めやコンクリートを置い
 たソ、ネットに石を入れたりして、土砂が崩
 れないようにしたりすることができると思
 います。起きてしま、たら防げなくても、起
 る前に防げることも多いと思います。
 土砂災害だけでなく、地震などの災害のと
 きも、事前に備えておくことが大切だと思
 い

ます。非常食やライトなど、自分で用意できることもあれば、地盤を固めたり土砂を抑える物を作ったりするなどの、県や国などに任せなければいけないことがあります。まおは、自分でできることから始めることが大切です。いくら備えていても、実際に起きると大人でも焦ってしまふと思います。だから、焦ったとしても大変な事にならないように備えるのだと思います。いつ起こるか分からない身近な災害が起きないようにしたり、落ち着いていたりするために日頃から備えておくことが大切だと思います。